



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	コミュニケーション概論 : 旅行コミュニケーションと地域振興のあり方 : 情報社会における観光デザインを考える
Author(s)	岡本, 健
Relation	「コミュニケーション概論（講義担当教員：玉川恵子）」．2011年12月21日講義資料．東京成徳大学八千代キャンパス．
Issue Date	2011-12-21
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/47788
Type	learning object
File Information	20111221_handout.pdf, 配布資料



「旅行コミュニケーションと地域振興のあり方 —情報社会における観光デザインを考える」

2011 年 12 月 21 日

講師：岡本 健(おかもと たけし)

連絡先：okamotot@cats.hokudai.ac.jp

① 授業の構成

【1 回目】情報社会における旅行行動の特徴とその課題

—旅行者による情報コミュニケーションの諸相と統計から

【2 回目】旅行コミュニケーションと地域振興のあり方

—情報社会における観光デザインを考える

② 授業の目的

情報社会と呼ばれている現在、観光や旅行をめぐる、どのようなコミュニケーションが起こっているのか、起こりうるのか、を事例やデータ、自分の経験などを用いて考察できるようになること。

③ 課題

【1 回目】の授業内容や、テキスト、自分自身の経験などを踏まえて、次のテーマについて、自由に論述してください。

1. 情報化した旅行者の特徴を整理する。
2. 1 のような旅行者が、ある地域を訪れることによって、どんなことが予想できるだろうか。良い面と悪い面の両方を考えてみよう。

〆切：11 月 30 日

提出方法：メールによる提出 okamotot@cats.hokudai.ac.jp に提出してください。

④ 本日のスライドと配布資料は以下のサイトにアップロードします

「北海道大学学術成果コレクション(HUSCAP)」

<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/index.jsp>

*大体 2, 3 日中にはアップロードされます。

⑤ 皆さんのレポート結果一覧

良い面	悪い面
旅行者の増加による経済効果	旅行者増加による環境や文化、景観の破壊
情報化による旅行情報の拡散	人気を背景にした物の値上げや過剰な投資
現地における交流	地域住民やスタッフの負担増
国際的なコミュニケーション	情報や情報発信者への信頼性の低さ
旅行者が新奇性を享受できる	悪い評価の情報拡散
	来訪者のマナーの悪さ